Press Release　　2026 年 11 月 12 日
報道関係各位

曽川あい・Amy M. Yamamoto・Natsu による三人展「In Passing」
ニューヨークの GOCA by Garde で開催
素材・色彩・光、それぞれ異なる表現で描き出す「うつろい」の世界
会期：2026 年 11 月 12 日（木）～12 月 10 日（木）

インテリアデザイン、コンサルティング、コーディネーションのトータルサービスをグローバルに展開する株式会社 GARDE（本社：東京都港区 代表取締役社長 室賢治）は、GARDE が手掛けるアートギャラリーGOCA by Garde にて、曽川あい（Ai Sogawa Campbell）、Amy M. Yamamoto、Natsu の女性アーティスト 3 名による展覧会「In Passing」を、2026 年 11 月 12 日（木）から 12 月 10 日（木）まで開催いたします。



GOCA by Garde は、日本およびアジアのアーティストを世界へ紹介する拠点として、絵画、彫刻、陶芸など多彩な作品を展示する GARDE 初の海外アートギャラリーです。日本およびアジアの現代アートをグローバルに発信する役割を担う、新たな文化発信の場を目指しています。

本展「In Passing」は、曽川あい、Amy M. Yamamoto、Natsu の女性アーティスト 3 名が、それぞれ異なる技法や表現を通じて描く「うつろい」に着目した展覧会です。素材の起伏、色の重なり、光の軌跡によって、見る距離や時間とともに姿を変える 3 名の作品。いずれも、像が移り変わる途中の一点にフォーカスを当てています。単色にとどまらない色の広がり、像が認識される寸前の認知の戯れ、別の印象へと移り変わろうとする瞬間。三人はそれぞれ異なる手法によって、その途中の状態を画面に留め

ます。

展覧会タイトル「In Passing」は、日本語の「うつろい」という響きを手がかりにしています。変化を意味する「移ろい」に、空ろさや余白を想起させる「虚」の字をあてた詩的な表記「虚い」を重ね、通り過ぎていく時間と、像が確かな意味で満たされる前、あるいはその意味がほどけた後にひらく余地の両方に目を向けます。

画像が一瞬で読み取られ、次の画像へと送られていく現代において、本展では、鑑賞者が作品と向き合う距離や時間を大切にしています。三者三様の技法やモチーフを通じて、移り変わるものの美しさや、その変化の中に生まれる内的な世界を見つめる機会を提供します。

■本展の見どころ

素材の起伏と色彩の重なりから、儚さと一瞬の美しさを描く曽川あい

曽川あいは、インクと粉末顔料をキャンバスに流し込み、その広がりを重力と粘度に委ねます。彩色したキャンバスを手で切り抜き、断片を何層にも重ねて画面に貼り込みます。葉や花弁、羽を思わせる輪郭の断片は、灰、藤色、淡い桃色、黄土といった抑えた色調のなかで重なり合い、浅い浮き彫りとなって光と影を受け、意志を持つ炎や蝶を思わせます。近年の制作では、喪失と記憶をめぐる個人的な経験を背景に、この世の儚さと、一瞬に宿る美しさを描き出します。



Ai Sogawa Campbell, Where end starts, 2026.

輪郭の曖昧な色彩によって、像が生まれる前の瞬間を捉える Amy M. Yamamoto

Amy M. Yamamoto の抽象画では、輪郭を持たない色の領域が、薄く重ねられた絵具によって互いに溶け合います。それぞれの色は境界を定めないまま画面全体に広がり、焦点の定まらない情景をつくります。霧のような層の中から、ところどころで彩度の高い色の筆致だけが鮮明に浮かび、花や身振りの断片を思わせながら、形として確定する前に再び周囲の色へと沈んでいきます。Yamamoto は具象の肖像画でも、顔の一部にだけ焦点を合わせ、それ以外を溶かす描き方を続けてきました。



Amy M. Yamamoto, Triptych IV Teal and Opera, 2026.

光の軌跡をたどり、二度と同じではない瞬間を描く Natsu

Natsu は、樹々の枝葉を透過する太陽の光を、線でたどります。セントラル・パークや五番街、自身の窓辺の光の移ろいを、太陽へと至る地図として画面に描き起こします。伝統的な日本画の画材を用いて、循環や祈りを繊細な色彩と幾何学的な構成で表現します。同じ場所、同じ時刻の観察を繰り返しても、光の道筋が二度と同じになることはありません。作家自身の言葉を借りれば、それは「同じに見えて、決して同じではない」ものです。



Natsu, Fountain - Make a Wish 001, 2026.

異なる表現の先に広がる、鑑賞者それぞれの内的な世界

三人の技法やモチーフ、制作の手順はそれぞれ異なりますが、共通するのは、絶えず移り変わるものを独自の方法で画面に留めていることです。像がほどけ、別の印象へと変わっていく瞬間には、鑑賞者自身の記憶や感覚、想いが入り込む余白が生まれます。「In Passing」は、変化のただ中にある一瞬に目を凝らし、その先に広がる内的な世界を見つめる展覧会です。

■展覧会開催概要

タイトル：「In Passing」　曽川あい、Amy M. Yamamoto、Natsu

期間：2026 年 11 月 12 日（木）～12 月 10 日（木）

会場：GOCA by Garde（515 W 23rd St, New York, NY 10011）

オープニング・レセプション：2026 年 11 月 12 日（木）18:00〜20:00
開廊時間：火〜土 10:00〜18:00、日 12:00〜18:00（月曜休廊）
公式サイト：https://www.goca.gallery/

■アーティストプロフィール

曽川あい（Ai Sogawa Campbell）

1978 年、大阪生まれ。ニュージャージーを拠点に制作。Kyoto College of Art and Design で油画を学び、2005 年に渡米。インクと粉末顔料の流し込みに、手で切った彩色キャンバスの断片を重ねる絵画や壁画を手掛ける。近年の主な展覧会に「Umwelt」（Gallery Makowski、ニューヨーク、2026 年）、「Converge」（Bridgette Mayer Gallery、フィラデルフィア、2024 年）がある。

Amy M. Yamamoto

ニューヨークを拠点に制作する画家。輪郭を持たない色の領域が溶け合う抽象画と、顔の一部に焦点を合わせる肖像画を並行して手掛ける。近年の主な展覧会に「HIGH VISIBILITY」（GOCA by Garde、ニューヨーク、2026 年）、「2024 Juried Selection Exhibition: Part 2」（Onetwentyeight、ニューヨーク、2024 年）がある。

Natsu

1976 年、日本生まれ。ニューヨークを拠点に制作。女子美術大学卒業。墨、膠、胡粉などの日本画材を用い、光や雲、音の動きを点と線で書き留める絵画を手掛ける。ハモンド美術館（ニューヨーク州ノースセーラム）などで個展を開催。2026 年には、GOCA by Garde による「Mapping Autonomy: Roots and Routes」（Future Fair、ニューヨーク）に出品。

GOCA by Garde

GARDE が手掛けるアートギャラリーである GOCA by Garde は、ニューヨーク・チェルシー地区に位置する日本およびアジアの現代アートに特化したギャラリー。絵画、彫刻、陶芸を通じて新進気鋭から著名なアーティストを紹介し、文化交流と対話を促進する場としての活用を目指しています。
チェルシー地区は、世界有数のアートとカルチャーの中心地として知られ、現在では約 200 のギャラリーが集まり、著名アーティストの展示から若手による実験的な作品まで、幅広いアートが展開されています。
そのようなチェルシーという舞台において、GARDE はこれまで築き上げてきた空間デザインのノウハウと、アーティストとのネットワークを最大限に活かし、アートを愛する人々が集い、交流する場を創出します。そして、GOCA by Garde が生み出す新たなインスピレーションと可能性が、アートを通じて社会にポジティブな影響をもたらすことを期待しています。

GARDE（ギャルド）について

1985 年創業のデザイン・コンサルティングファーム。世界のラグジュアリーショップ、ホテル、高級レ

ジデンス、大型 SC・百貨店、フードコートを含む飲食店、グローバル企業のオフィス、スポーツ・エンターテインメント複合施設など、多岐にわたる空間デザインを手がけている。事業の中核となる建築・環境デザインを担う「デザイン事業」に加え、不動産売買・仲介や新規事業企画開発、海外事業進出支援などを行う「コンサルティング事業」、さらに不動産コーディネーション、アート支援・販売、メタバースなどのデジタルソリューション開発、地方創生サービスを含む「コーディネーション事業」の 3 事業を柱に展開。近年では、ニューヨークおよび南青山にアートギャラリーを開業・運営。アートを起点とした価値創造や国際的な文化発信にも取り組み、空間デザインの枠を超えた事業領域を拡張している。「情緒的経営価値」の提供を掲げ、顧客企業の歴史や哲学、技術やビジョンを深く理解した上で、それらを統合し、卓越したデザインと機能性を兼ね備えた空間・体験へと昇華させている。東京本社のほか、ミラノ、パリ、香港、上海、シンガポール、クアラルンプール、ジャカルタ、ドバイ、ニューヨーク、ロサンゼルスなど世界各地に拠点を展開。

GARDE 公式 HP：https://www.garde-intl.com/
DESIGN MAGAZINE：https://gardedesignmagazine.com/
Instagram：https://www.instagram.com/garde_world_design/
Facebook：https://www.facebook.com/Garde_world_design-106875268137204/
LinkedIn：http://nl.linkedin.com/company/garde-usp